

令和8年 4月 14日

医学科4年次生 各位

学務課

学術交流協定等に基づく交換留学生
(シンガポール国立大学における臨床実習)の募集について

医学科5-6年次の選択臨床実習(臨床医学Ⅱ)における学術交流協定校等への短期留学生(臨床実習)について、下記のとおり募集を行う。

記

資 格 : TOEIC (L&R) 720点もしくはCEFR B2以上の語学力を有すること。

※応募時まで上記資格を満たすこと。締切後に結果が判明する試験等での申請は一切受け付けない。

※CEFR B2以上に該当するかの判定は、別紙1の「英語資格試験換算表」を確認すること。

※検定試験の認定証書または合格証書の発行日が応募締切日から過去2年以内のもの(3年次のTOEIC団体受験時のスコアを含む)を有効とする。参考資料として、1年次及び3年次のTOEIC団体受験時のスコアを提出すること。

※過去2年以内では上記資格を満たしていないが、それ以前の試験で基準を満たしていた場合は、選考の参考資料とするため、希望調査票に必要事項を記入のうえ、語学力証明書(写)を提出すること。

実習期間 : 4・6・8週間のいずれか

※ただし、実習先の都合により変更する可能性がある。

実習場所及び派遣可能人数 :

シンガポール国立大学(シンガポール)

2名以内

※他の学術交流協定校等との併願については別紙2を確認すること。

応募方法 : 添付の希望調査票を記入のうえ、英文履歴書・英文志望理由書及びTOEIC等の語学力証明書(写)を添付し、メールで提出する。

※英文履歴書・英文志望理由書の作成については以下HPを参考にする。

<https://www.hama-med.ac.jp/intl-ctr/husm/cv-ml.html>

※語学力証明書(写)などの書類は、応募締切までに条件を満たすものを提出すること。締切後の提出は、一切認めない。

応募先 : 学務課教務係(メール: kyoumu@hama-med.ac.jp)

応募締切 : 令和8年9月30日(水) 17:00

選考：書類審査、面接、及び共用試験 CBT 成績により行う（面接日程は後日連絡）。
※審査においては TOEIC 成績が最も重要視される。そのため、団体受験以外で受験したスコアを提出してもよい。
※過去の学生生活全般での問題行動等の有無、国際化推進センター主催の English Café への参加回数についても選考の基準とする。

単位認定：留学前、単位認定を行う担当教員（臨床実習先の診療科に対応する本学の講座等の筆頭教員）と相談の上、留学先での到達目標を設定し、「海外臨床実習申請兼海外旅行届」を国際化推進センターに提出する。
留学後、到達目標に対する学修成果をまとめた「留学報告書」、「海外臨床実習単位認定申請書」作成し、単位認定を行う担当教員の承認を受けた上で、「実習評価表（留学先に記入依頼する）」及び「実習修了証明書」と併せて国際化推進センターに提出する。

費用：自己負担

※諸経費として、以下がかかる（参考：R8. 3. 26 時点）。

- ・申請料：申請 1 回あたり、S\$152. 80（9% GST 込み）（約 1 万 8 千円）
- ・実習費：S\$625. 00/週（4 週の場合、S\$2500. 00（約 31 万円））

詳細は以下先方の HP を確認すること。

<https://medicine.nus.edu.sg/current-students/clinical-electives-programme-for-overseas-visiting-student/fees/>

支援金：8 万円を支給予定。

※海外派遣決定後、国際化推進センターが主催する事前英語指導（英語による症例発表練習等）に必ず参加すること。また、帰国後毎年 6～7 月に開催される報告会等にて学修成果を報告していただきます。これらを満たさない場合、大学からの支援金は支給しない。

その他：

- 選考の結果に関わらず、派遣先の都合や治安情勢等により留学できない場合がある。
- 先方の都合等により、希望の期間・診療科での実習とならない場合がある。期間や診療科は変更となる可能性があることを理解した上で申し込むこと。また、海外臨床実習を選択した場合、本学実習スケジュールの関係で選択臨床実習期間に各自で選択できる休みの週（空きターム）を大学側で指定する場合がある。
- 留学中は、緊急連絡用に海外でも利用できる携帯電話を所持すること。
- 現地で実習中の事故に備えた学研災保険（入学時に加入済み）及び往復の旅費や滞在中の事故等に備えた海外旅行保険（学研災付帯海外留学保険を学務課から別途加入案内予定）、危機管理サービス OSSMA への加入を必須とする。
- 留学前後に必要な手続きについて、以下 HP を事前に確認しておくこと。
<https://www.hama-med.ac.jp/intl-ctr/husm/clinical-document.html>
- 帰国後は毎年 6～7 月に開催される報告会等にて学修成果を報告すること（支援金部分に記載のとおり）。また、別途大学で発行している広報誌 NEWSLETTER やその他パンフレット等への寄稿を依頼する場合がある。
- 入国にあたり、査証（渡航目的に沿って確認）や電子渡航認証が必要な場合は、各自大使館等公式 HP で事前に必ず確認すること。

【問い合わせ先】

学務課教務係 (kyoumu@hama-med. ac. jp)

国際化推進センター/学務課国際化推進室留学生係
(HUSM_IC@hama-med. ac. jp)